

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

第2類医薬品

漢方のかぜぐすり

葛根湯エキス顆粒

葛根湯は漢方の原典である「傷寒論」、「金匱要略」に記載されている代表的な薬です。これは葛根、麻黄、生姜、大棗、桂皮、芍薬、甘草の7種類の生薬（天然の薬物）を総合的に組み合わせ、煎じ薬として服用するものです。その基本的な作用は“上半身の充血を緩和すること”と“体内の余分な水分を汗や尿として排出すること”です。上半身に血液が集まると、のぼせ、頭痛、寒気、発熱などが起こります。これはかぜの初期症状や肩こりの状態にあたります。また、悪寒や発熱、鼻みずは体内に余分な水分があることを意味します。かぜの初期の発熱、悪寒、頭痛などにききめがあり、首すじから肩と背中にかけてのこりにも効果があり、現代でも広く用いられている漢方薬の一つです。

「**葛根湯エキス顆粒**」は「**葛根湯**」を煎じなくてもそのまま服用できるよう、煎液をエキス化し、飲み易いように顆粒にしたものです。

かぜや肩こりは初期の手当が肝心です。保温に心がけ、消化の良い滋養のある食事をとって、早めに治したいものです。

⚠️ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと
生後3カ月未満の乳児。
2. 短期間の服用にとどめ、連用しないこと

🗨️ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
(4) 胃腸の弱い人。
(5) 発汗傾向の著しい人。
(6) 高齢者。
(7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
(9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

(裏面に続きます)

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、 脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、 褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

かぜの初期、鼻かぜ、かぜによる頭痛・肩こり。

用法・用量

年 齢	1 回 量	1日服用回数
15歳以上	1包	1日3回食間に服用 すること
7歳以上15歳未満	2/3包	
4歳以上7歳未満	1/2包	
2歳以上4歳未満	1/3包	
2歳未満	1/4包以下	

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
(2) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
(3) 用法・用量を厳守すること。

成分・分量 1日量3包中に次の成分を含む。

葛根湯エキス粉末 ----- 2125mg

カッコン ----- 2000mg	マオウ ----- 1500mg
ショウキョウ --- 500mg	タイソウ ---- 1500mg
ケイヒ ----- 1000mg	シャクヤク --- 1000mg
カンゾウ ----- 1000mg	

より得たエキス粉末

添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
(2) 小児の手の届かない所に保管すること。
(3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
(4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
(5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先
田村薬品工業株式会社 お客様相談室
06-6203-5151
受付時間10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元

田村薬品工業株式会社
奈良県御所市西寺田50